

当院の大腸ステント留置術の安全性 及び術後の下部消化管内視鏡検査の検討 情報公開文書

日本赤十字和歌山医療センターでは、以下にご説明します研究を実施します。この研究への参加を希望されない場合は、研究不参加とさせていただきますので、下記のお問い合わせ先にお申し出ください。またお申し出された場合でも、いかなる不利益を受けることはございませんので、ご安心ください。

研究目的

閉塞性大腸癌に対し術前減圧目的として大腸ステント留置が広く行われている。ステント留置により腸管が減圧され人工肛門造設を回避できるうえに、閉塞が解除されることで深部大腸を含めた全大腸内視鏡検査が可能となる。ステント留置後の全大腸内視鏡検査の安全性や有用性に関して、これまで多数例の報告が少ないのが現状である。大腸ステント留置の安全性及び留置後の下部消化管内視鏡検査の安全性が確認できれば有意義である

研究期間

2024年3月1日から2027年2月28日（3年間）の予定

研究の対象となる方

2012年1月から2024年4月の間に、当院で大腸癌による狭窄を来した患者の中で大腸ステント留置術を行った患者

研究の方法

電子カルテを使用して、匿名情報に加工したデータを使用します。このデータをもとに、肺炎の重症度や予後因子、WONの体積などを統計学的に調査します

使用する情報および個人情報の保護

患者さん個人番号（ID）と氏名が含まれていない状態で、電子カルテからデータを抽出します。また研究用パソコンは、インターネットにつなぎません。論文化から10年程度データを保存しますが、その後に適切にデータを破棄します。

研究資金・利益相反について

該当する利益相反はなく、研究資金は日本赤十字社和歌山医療センターから提供されます。

研究計画書などの入手・閲覧方法・手続き

研究計画書などは入手閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

個人情報の開示にかかる手続きについて

ご自身の情報を閲覧可能です。ご希望される場合は、下記までお問い合わせください。

研究責任者

外村 晃平 日本赤十字社和歌山医療センター 消化器内科 医師

共同研究者

佐藤 雄 消化器内科 医師
岩上 裕吉 消化器内科 副部長
上野山 義人 消化器内科 部長

お問い合わせ先

日本赤十字社和歌山医療センター 総務課
電話 073-422-4171 (代表電話)
所在地 〒640-8558 和歌山市小松原通4-20